

2018年度 後期授業評価アンケート 顕彰科目担当教員コメント

教員名	中 善則
顕彰科目名	教職概論2
<p>●授業運営において工夫されている点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開講時に、くじにより、座席指定・班編制をしました。班内での意見交流を大切にして、自分たちで、学ぶ雰囲気をつくることを、繰り返し求めました。 ・ できるだけ、毎時間、班で議論ができるような内容・展開となるよう授業構成を考えました。学生も、他人の意見を聞く楽しみを実感し、さらに、雰囲気づくりにより、自分の意見を話せるように成長していったくれたように思います。 ・ この講義では、可能な限り、学校現場の生の様子が伝わるように、ビデオ鑑賞や現職教員の講話などを聞く時間をとりました。学生のそれらから学ぼうとする姿勢は素晴らしく、講師の先生も、大変、感銘を受けたようです。 ・ 現場教員・人権週間期間の講師へ講話内容についての感想を書く機会をつくりました。みなさんのコメントが、単にお礼や礼賛でなく、さらなる質問や疑問、批判もあり、意識高く学んでくれたことがよくわかりました。講師も大変、喜んでいました。 ・ 授業終了時に、「ふりかえりシート」を配布、本時の内容に関して、意見・疑問・質問・教員の見解に対する批判・授業に関する要望、そして、グループワークに関して、他の学生へのコメント（相互評価）を記入してもらい、主な意見を次の時間に紹介するようにこころがけました。 ・ 欠席は原則として認めず、休む場合は、メール連絡を必須としました。その結果、ほとんどの学生は欠席せず、もし、休んだ場合も、本時の内容、次時までにしておいてほしいことなどの連絡ができました。 <p>●今後取り組んでいこうと考えておられることなど</p> <p>授業内容の改善はもちろんですが、「ふりかえりシート」の改善やその活用の方法についても、考えていきたいと思っています。</p>	